

# 消防団活動に関するアンケート 調査結果



令和5年11月6日  
千葉県防災危機管理部消防課



0

## 調査概要

### 1.調査対象

県内各市町村等消防団に所属する全消防団員  
(男性：22,429名 女性：628名 計23,057名)

### 2.回答集計期間

令和5年8月1日(火)～9月10日(日)

### 3.調査方法

「ちば電子申請サービス」による無記名方式

### 4.回答数

7,731名(回答率 33.5%)

【内訳】・男性 7,490名(回答率 33.4%)  
・女性 228名(回答率 36.3%)  
・その他 13名

1

## 調査概要

### 5.調査項目

#### ■ 基本項目

年齢、所属している消防団の地域、消防団加入期間、階級

#### ■ 消防団活動に関すること

入団理由、消防団活動のやりがい、消防団活動を通じてよかったこと、消防団活動で不満（負担）に感じる事

#### ■ 操法に関すること

操法について、操法大会の開催について

#### ■ その他消防団活動に関する御意見

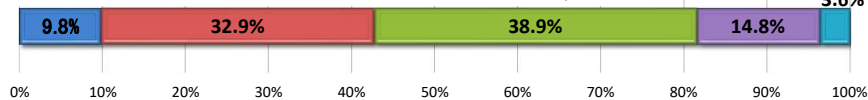
2

## 基本項目

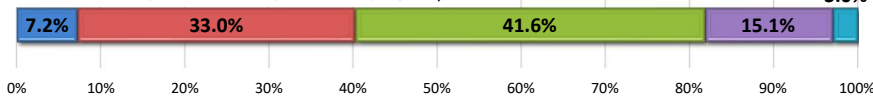
年齢別、地域別、加入期間別、階級別の回答率

### ➤ 年齢別の割合

県内全消防団員における割合（県内全消防団員数：23,057人）



アンケート回答における割合（全回答数：7,731人）



■ 20歳代以下 ■ 30歳代 ■ 40歳代 ■ 50歳代 ■ 60歳以上

	計	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
団員数	23,057	2,267	7,589	8,959	3,406	836
割合		9.8%	32.9%	38.9%	14.8%	3.6%
回答数	7,731	560	2,555	3,215	1,170	231
割合		7.3%	33.0%	41.6%	15.1%	3.0%
回答率		24.7%	33.7%	35.9%	34.4%	27.6%

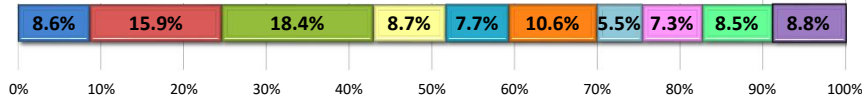
3

## 基本項目

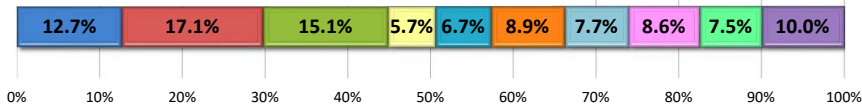
年齢別、地域別、加入期間別、階級別の回答率

### ▶ 地域別の割合

県内全消防団員における割合(県内全消防団員数:23,057人)



アンケート回答における割合(全回答数:7,731人)



■ 千葉地域 ■ 東葛飾地域 ■ 印旛地域 ■ 香取地域 ■ 海匠地域 ■ 山武地域 ■ 長生地域 ■ 夷隅地域 ■ 安房地域 ■ 君津地域

	千葉地域	東葛飾地域	印旛地域	香取地域	海匠地域	山武地域	長生地域	夷隅地域	安房地域	君津地域
団員数	2,413	3,253	4,231	2,008	1,770	2,447	1,272	1,673	1,956	2,034
割合	10.5%	14.1%	18.4%	8.7%	7.7%	10.6%	5.5%	7.3%	8.5%	8.8%
回答数	980	1,321	1,169	443	517	690	594	668	578	771
割合	12.7%	17.1%	15.1%	5.7%	6.7%	8.9%	7.7%	8.6%	7.5%	10.0%
回答率	40.6%	40.6%	27.6%	22.1%	29.2%	28.2%	46.7%	39.9%	29.6%	37.9%

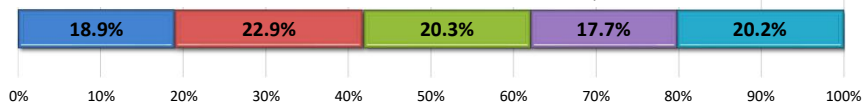
4

## 基本項目

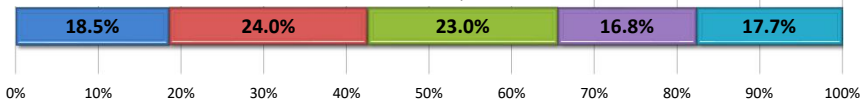
年齢別、地域別、加入期間別、階級別の回答率

### ▶ 加入期間別の割合

県内全消防団員における割合(県内全消防団員数:23,057人)



アンケート回答における割合(全回答数:7,731人)



■ 5年未満 ■ 5~10年 ■ 11~15年 ■ 16~20年 ■ 20年以上

	5年未満	5~10年	11~15年	16~20年	20年以上
団員数	4,368	5,277	4,672	4,076	4,664
割合	18.9%	22.9%	20.3%	17.7%	20.2%
回答数	1,434	1,857	1,779	1,295	1,366
割合	18.5%	24.0%	23.0%	16.8%	17.7%
回答率	32.8%	35.2%	38.1%	31.8%	29.3%

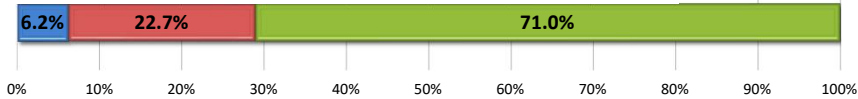
5

## 基本項目

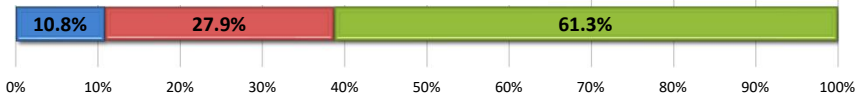
年齢別、地域別、加入期間別、階級別の回答率

### ➤ 階級別の割合

県内全消防団員における割合（県内全消防団員数：23,057人）



アンケート回答における割合（全回答数：7,731人）



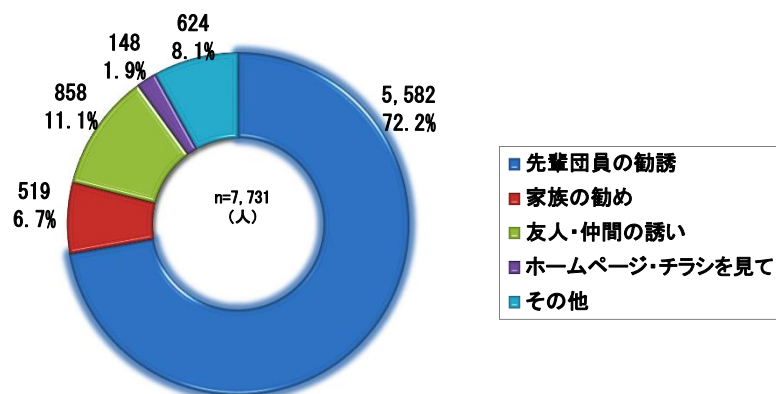
■ 分団長以上 ■ 副分団長・部長・班長 ■ 団員

	分団長以上	副分団長・部長・班長	団員
団員数	23,057	1,437	5,239
割合	6.2%	22.7%	71.0%
回答数	7,731	836	2,156
割合	10.8%	27.9%	61.3%
回答率	58.2%	41.2%	28.9%

6

## 各設問における回答結果

問1 - (1) 入団したきっかけを教えてください



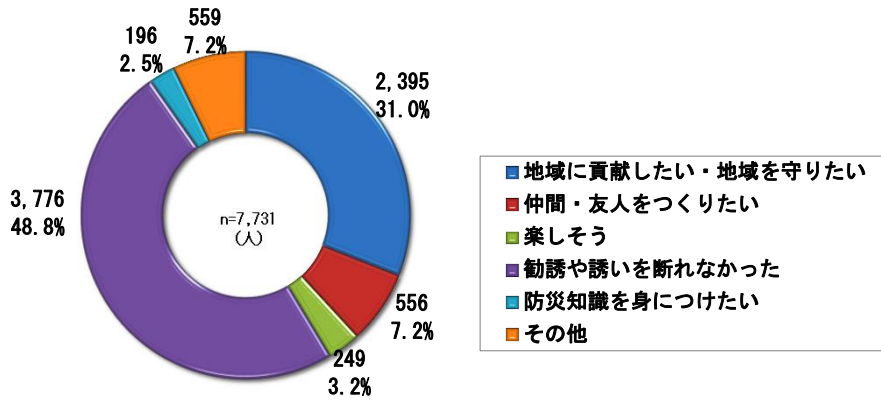
### ■「その他」に関する主な回答

- ・消防団に興味があった。
- ・東日本大震災を経験して、災害時の消防団の重要性を感じて。
- ・住んでいる地域で順番が回ってきたから。
- ・家が火事になったので 等

7

## 各設問における回答結果

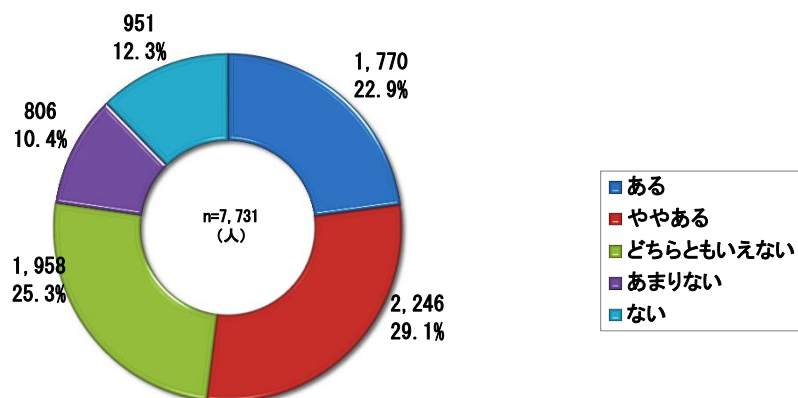
問1 - (2) 入団理由を教えてください



8

## 各設問における回答結果

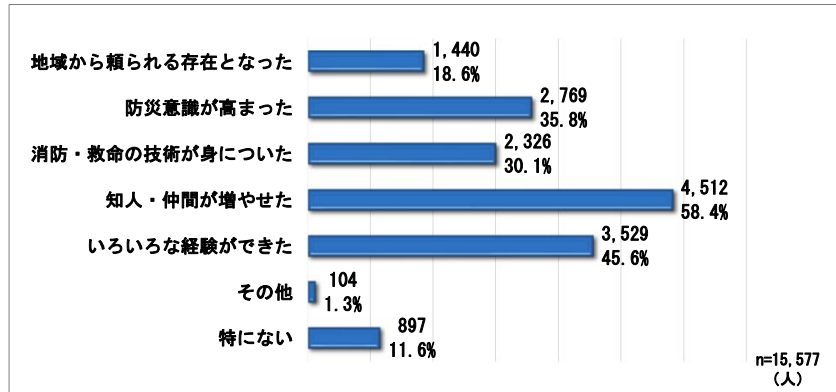
問1 - (3) 消防団活動のやりがいはどうですか



9

## 各設問における回答結果

問1 - (4) 消防団活動を通じてよかったと感じることは何ですか【複数回答可】



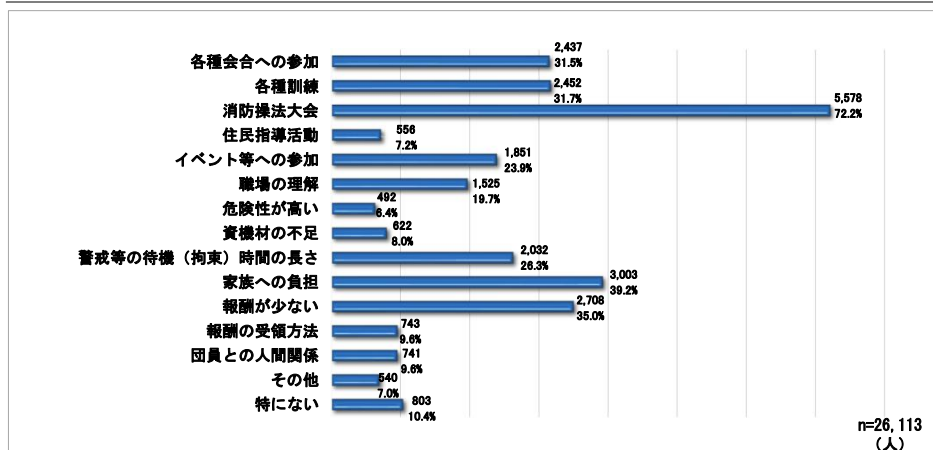
### ■「その他」に関する主な回答

- ・仲間との絆が深まった。・地域の歳の離れた人との交流。
- ・自分自身が生まれ育った地域に貢献出来る事。等

10

## 各設問における回答結果

問1 - (5) 消防団活動で不満（負担）に感じることは何ですか【複数回答可】



### ■「その他」に関する主な御意見

- ・人員不足のため個人に掛かる負担が大きい
- ・若者を惹きつける要素がない
- ・技術講習が少ない 等

11

## 各設問における回答結果

問1 - (6) 不満(負担)に感じた理由【自由記述】

### ■ 主な御意見

- ・引き受け手が少なく、団員の都合もつきにくいため、勧誘が難しい。また、人員確保ができなければ、退団も難しい。
- ・消防団を良く思っていない人が多いと思う。
- ・団員の高齢化 活動を受け継ぐ団員が育たない。
- ・参加できる時にしてくれればいいから、という誘いで入団したが訓練や夜警が頻繁にあり、自分のプライベートをわざわざそのために調整して犠牲にしている。
- ・時間に見合う報酬がないので家族に理解を得られにくい。特に災害時は家族を優先できないので、せめて納得のいく報酬が欲しい。
- ・資機材不足により、活動範囲が限られる。

12

## 各設問における回答結果

問1 - (7) 団員確保のためのアイデア【自由記述】

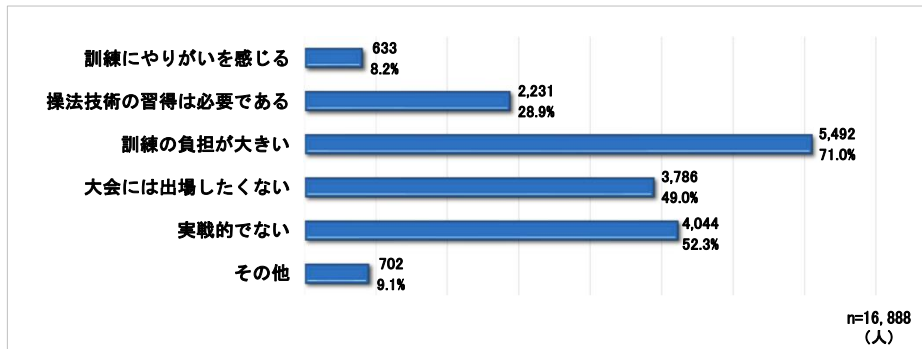
### ■ 主な御意見

- ・消防イベント以外のイベントでのアピール、団員募集のチラシ等を設置してもらえそうな商業施設等へのアピール(スポーツジム、運動施設など身体を動かす事が好きそうな人が集まる場所など)
- ・TVCM等で消防団の重要性、必要性をアピールして欲しい。
- ・団員報酬を上げる。
- ・活動内容のPRが足りない。操法のイメージが強いので、それ以外の活動をアピールした方が良い。
- ・消防団員になると、各店舗での割引制度など、家族でのメリットが欲しい。

13

## 各設問における回答結果

問2 - (1) 操法についてどう思いますか【複数回答可】



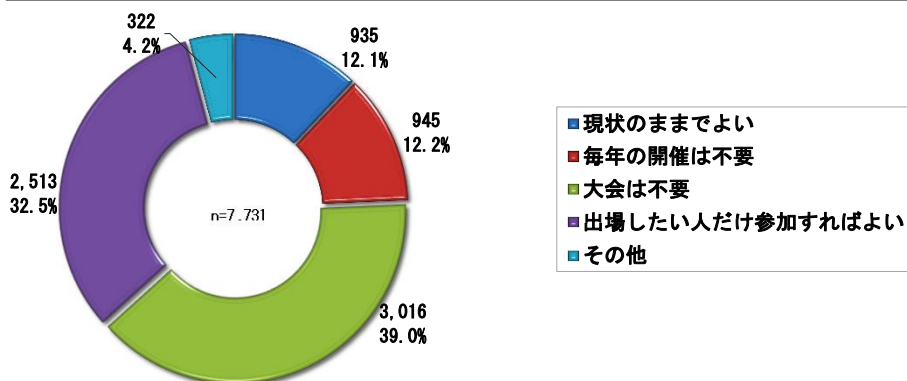
### ■「その他」に関する主な御意見

- ・ポンプなどの取り扱いを覚えるには丁度いいと思う。
- ・訓練結果に大きな意味は無いが、団員の顔合わせ及び交流として必要と考えます。
- ・必要性をまったく感じない。時代錯誤。 等

14

## 各設問における回答結果

問2 - (2) 操法大会の開催についてどう思いますか



### ■「その他」に関する主な御意見

- ・順位を競う大会から技術向上の大会開催が好ましいと思う。
- ・技術や知識を習得できる一方で、速さや美しさを競うことの必要性を感じない。
- ・全国大会、県大会、支部大会、市大会と順に開催される以上、その下の大会をやらざるを得ない状況で工夫も難しい。日本消防協会や国、県が影響大である。 等

15



## 各設問における回答結果

### 問3 消防団活動に関する御意見【自由記述】

#### ■ 主な御意見

- ・地域防災としてはとても大切な組織だと思うが、有事の際に集まれる組織を目指さないと、このままでは不要な組織として広く認識が広がってしまうので、必要最低限の活動に絞り、消防団活動が何かという本来の趣旨を広報していただきたい。
- ・消防団に参加してる人でお金のために動いてる人はいないと思う。しかし報酬をもらえることでモチベーションのアップや助かる人は居ると思う。出て来てない団員などの選別を進めて、ちゃんと活動してる人が報酬を受け取れるような消防団になるといい。
- ・地域に若い人が少なくなってきたので、消防団という組織事体を考え直さないといけない時期がきていると思う。このままでは団員の高齢化で自然消滅すると思う。
- ・こういったアンケートを定期的に行ってほしい。 等